



株主の皆様へ

# 第102期 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

 山陽特殊製鋼株式会社

証券コード | 5481



代表取締役社長  
武田 安夫

## Contents

株主の皆様へ	1
業績ハイライト	3
セグメント情報	4
連結財務諸表	5
おかげさまで、創業80周年	7
会社・株式情報	9

(注)本報告書に記載している業績予想につきましては、策定時点において入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第102期第2四半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の営業の概況等をご報告申し上げます。

## 営業の概況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、円高の修正や政府の経済政策への期待等を背景として、株価の上昇や企業収益の回復など、持ち直しの傾向が明らかとなりました。また、世界経済も新興国の経済成長鈍化や欧州経済の低迷などがあるものの、米国経済が比較的堅調であったことなどにより緩やかな成長を続けました。

特殊鋼業界におきましては、昨年秋口に、尖閣問題を契機として自動車分野を中心とする需要の停滞とそれに伴う大幅な在庫調整が発生しましたが、今年に入ってから順調な回復をみせております。

このような中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、販売数量が前年同期に比べ増加したことなどにより、前年同期比16億91百万円増の782億74百万円となりました。経常利益は、電

力・燃料価格の上昇などがありましたが、販売数量の増加やコストダウンの実施に注力したことに加え、人件費の減少や為替差益の計上などにより、前年同期比17億25百万円増の40億2百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損や固定資産除売却損の減少などにより、前年同期比11億78百万円増の25億21百万円となりました。

なお、当第2四半期末を基準日とする剰余金の配当（中間配当）につきましては、利益配分に関する基本方針に則り、1株当たり3円とさせていただくことといたしました。

## 次期の見通し

今後のわが国経済につきましては、これまでの円高修正や、企業心理の改善などにより、回復基調の継続が期待される一方で、政府の成長戦略の具体的な実施がまだこれから先となることや、新興国の経済成長鈍化や国際競争の激化、また、そのような環境下における、わが国の電力価格値上問題などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループとしては、非価格競争力の

強化に向けた取り組みに一層注力するとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

以上を総合的に勘案し、通期業績予想につきましては、平成25年7月25日に公表させていただいた数値を修正し、売上高1,633億円、経常利益70億円、当期純利益43億円といたします。

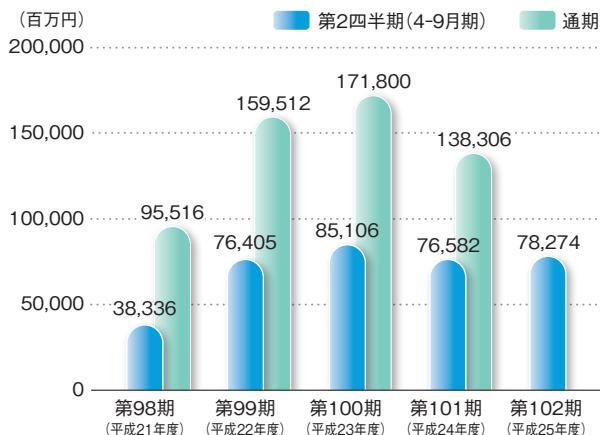
また、当期末を基準日とする剰余金の配当（期末配当）につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、期間業績に応じた配当を実施してまいります。現時点では具体的な金額は未定とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

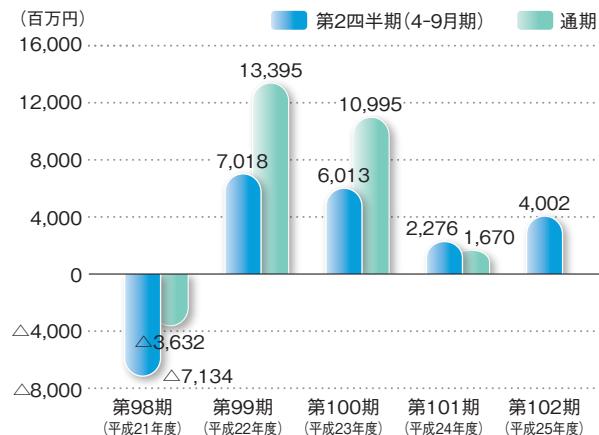
平成25年12月

# 業績ハイライト

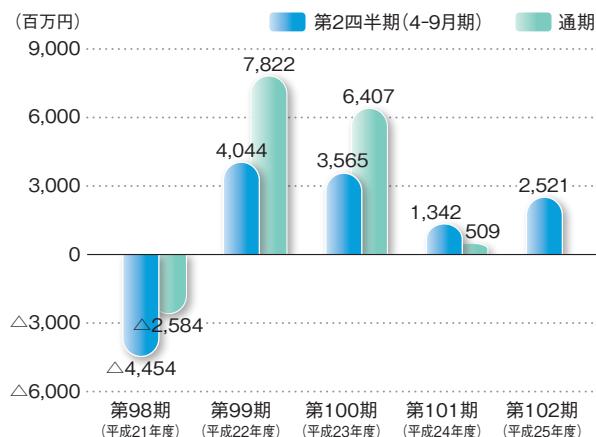
## 連結売上高



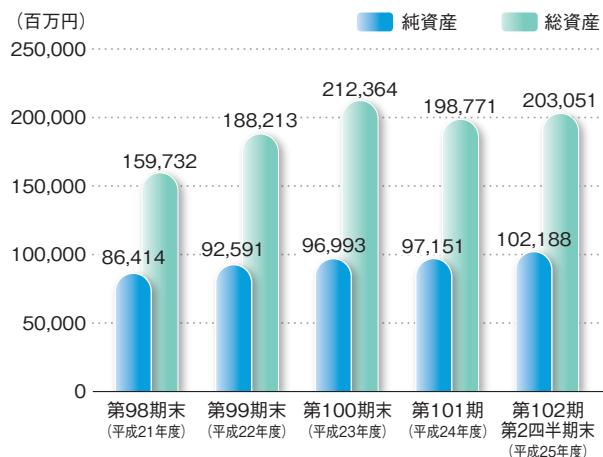
## 連結経常利益



## 連結純利益



## 連結総資産・純資産



# セグメント情報

## 鋼材事業

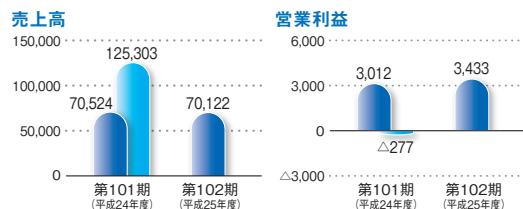
昨年発生した需要の停滞とそれに伴う大幅な在庫調整からの回復が順調に進み、販売数量は前年同期に比べ増加しましたものの、鉄スクラップ・サーチャージ制度の下、鉄スクラップ価格の下落を反映した販売価格の下がりなどにより、売上高は701億22百万円となりました。営業利益は、電力・燃料価格の上昇などがありましたが、販売数量の増加などにより、34億33百万円となりました。

売上高  
**701億22百万円**

営業利益  
**34億33百万円**

※各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

### 鋼材事業



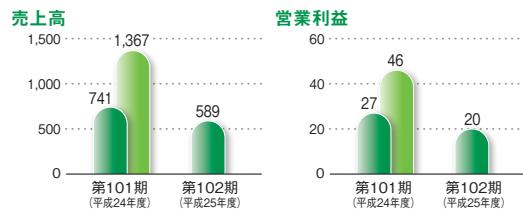
### 特殊材事業



### 素形材事業



### その他



## 特殊材事業

耐熱・耐食合金、金属粉末製品などの製造および販売を行っており、売上高は39億35百万円、営業利益は6億35百万円となりました。

売上高  
**39億35百万円**

営業利益  
**6億35百万円**

## 素形材事業

販売数量の増加などにより、売上高は88億72百万円、営業利益は9億28百万円となりました。

売上高  
**88億72百万円**

営業利益  
**9億28百万円**

## その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、売上高は5億89百万円、営業利益は20百万円となりました。

売上高  
**5億89百万円**

営業利益  
**20百万円**

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>(資産の部)</b>	
流動資産	119,674
固定資産	83,377
<b>資産合計</b>	<b>203,051</b>
<b>(負債の部)</b>	
流動負債	67,516
固定負債	33,346
<b>負債合計</b>	<b>100,863</b>
<b>(純資産の部)</b>	
株主資本	97,998
その他の包括利益累計額	3,565
少数株主持分	624
<b>純資産合計</b>	<b>102,188</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>203,051</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>78,274</b>
売上原価	68,211
売上総利益	10,063
販売費及び一般管理費	6,064
<b>営業利益</b>	<b>3,998</b>
営業外収益	566
営業外費用	562
<b>経常利益</b>	<b>4,002</b>
特別利益	4
特別損失	93
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>3,912</b>
法人税等合計	1,341
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>2,570</b>
少数株主利益	49
<b>四半期純利益</b>	<b>2,521</b>

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,570
<b>その他の包括利益</b>	
その他有価証券評価差額金	1,737
為替換算調整勘定	577
持分法適用会社に対する持分相当額	154
その他の包括利益合計	2,469
<b>四半期包括利益</b>	<b>5,040</b>

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	4,928
少数株主に係る四半期包括利益	111

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	204
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,957
現金及び現金同等物の期首残高	22,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,463



# さらなる飛躍を目指し、これが

山陽特殊製鋼は、おかげさまで平成25年11月10日に、創業80周年を迎えることができました。これもひとえに、皆様の長きにわたるご愛顧、ご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

当社は昭和8年の創業以来、高品質の特殊鋼を安定的に提供してまいりました。今後も当社は、経営理念である「信頼の経営」のもと、時代の変化に的確に対応し、さらなる発展を図ってまいります。そして、次なる100周年に向け、新たな挑戦を続けてまいります。これからも皆様の変わらぬご愛顧、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

1933年(昭和8年)

- 山陽製鋼所として創業



3トン電気炉

1953年(昭和28年)



創業20周年

1966年(昭和41年)

- 国鉄から新幹線用軸受鋼を受注

1960年(昭和35年)

- 分塊圧延機および大形圧延機完成



分塊圧延機

1973年(昭和48年)

- 会社更生手続き終結

1970年(昭和45年)

- 継目無鋼管製造設備(アッセル・ミル)完成



アッセル・ミル

1939年(昭和14年)

- 大阪証券取引所に株式上場
- 日本政府から軸受鋼専門メーカーとして指定される

1954年(昭和29年)

- 東京証券取引所に株式上場

80年の  
あゆみ

1930~

1940~

1950~

1960~

1970~

1935年(昭和10年)

- 山陽製鋼(株)設立



工場全景

1959年(昭和34年)

- 商号を山陽特殊製鋼(株)に変更
- 継目無鋼管製造設備(2,000トン熱間押出プレス)完成



2,000トン熱間押出プレス

1963年(昭和38年)

- 大阪特殊製鋼(株)を吸収合併

1964年(昭和39年)



新社屋(現・本社事務所)完成

1965年(昭和40年)

- 会社更生法の適用申請・株式上場廃止

1980年(昭和55年)

- 大阪証券取引所に株式再上場



大証再上場

# らも挑戦を続けます。

1982年(昭和57年)

○第二製鋼工場完成



150トン電気炉

1986年(昭和61年)

○第二棒線工場完成

1997年(平成9年)

○第二製鋼工場連続铸造設備で軸受鋼単一タンディッシュによる73チャージ連続铸(世界記録)達成

2011年(平成23年)

○5,000トン自由鍛造プレス機完成



5,000トン自由鍛造プレス機

2012年(平成24年)

○60トン連続铸造設備完成

○インドにおける特殊鋼製造・販売事業へ出資



60トン連続铸造設備

1980~

1990~

2000~

2010~

1988年(昭和63年)

○粉末工場完成



粉末工場建設工事

1991年(平成3年)

○超高纯净度軸受用鋼を日本精工(株)と共同開発

2001年(平成13年)

○中国現地法人での素形材生産開始



中国素形材工場

2006年(平成18年)

○新日本製鐵(株)(現・新日鐵住金(株))の持分法適用関連会社となる

ホームページ  
リニューアルのお知らせ

当社はこのたび、創業80周年記念事業の一環として、ホームページをリニューアルいたしました。より使いやすく、より分かりやすいホームページとなるよう、今後も内容のさらなる充実を目指してまいります。当社創業80周年特設サイトとあわせて、ぜひご覧ください。

トップページ



<http://www.sanyo-steel.co.jp/>

※トップページのアドレスは従来と同様です。

創業80周年特設サイト



<http://www.sanyo-steel.co.jp/anniversary/index.html>

## 会社概要

平成25年9月30日現在

社 名 山陽特殊製鋼株式会社  
英 文 社 名 Sanyo Special Steel Co., Ltd.  
設 立 昭和10年1月  
資 本 金 20,182百万円  
事 業 内 容 鋼材事業、特殊材事業、素形材事業、その他  
本 社 ・ 工 場 姫路市飾磨区中島3007番地(〒672-8677)  
☎(079)235-6003(総務部)  
支社・支店・営業所 東京支社、大阪支店、名古屋支店、広島支店、九州営業所  
従 業 員 数 連結2,819名、単体1,422名(就業人員)  
ホームページアドレス <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

## 役 員

平成25年9月30日現在

代表取締役社長	武 田 安 夫	取 締 役	大 井 茂 博
取締役副社長	田 中 延 幸	取 締 役	柳 本 勝
専務取締役	塚 本 裕	取 締 役	新 野 員 也
常務取締役	磯 本 辰 郎	取 締 役	永 野 和 彦
常務取締役	富 永 真 市	常任監査役(常勤)	木 村 弘 明
常務取締役	柳 谷 彰 彦	監査役(常勤)	吉 田 敏 彦
常務取締役	西 濱 涉	監査役(常勤)	佐々木 英 之
常務取締役	榮 山 博 之	監 査 役	村 上 雅 俊
取 締 役	小 林 正 治	監 査 役	岩 崎 正 樹

## 重要な子会社

平成25年9月30日現在

### 鋼 材 事 業

連結子会社

- 陽鋼物産株式会社  
(特殊鋼製品、製鋼原料、諸資材などの売買)
- サントク精研株式会社  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山特工業株式会社  
(特殊鋼の加工、機械設備のメンテナンス)
- 山特テクノス株式会社  
(特殊鋼の加工)
- SKJ Metal Industries Co., Ltd.  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- P.T. SANYO SPECIAL STEEL INDONESIA  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山陽特殊鋼貿易(上海)有限公司  
(中国における特殊鋼製品の販売等に関する業務)
- Sanyo Special Steel India Pvt. Ltd.  
(インドにおける特殊鋼製品の販売等に関する業務)

持分法適用関連会社

- Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.  
(特殊鋼製品の製造・販売)

### 素 形 材 事 業

連結子会社

- サントクテック株式会社  
(特殊鋼製品の加工)
- SANYO SPECIAL STEEL U.S.A., INC.  
(特殊鋼製品などの輸入・販売)
- 寧波山陽特殊鋼製品有限公司  
(特殊鋼製品の加工・販売)

持分法適用関連会社

- Advanced Green Components, LLC  
(特殊鋼製品の加工)

### そ の 他 事 業

連結子会社

- サントクコンピュータサービス株式会社  
(情報システム構築・運用・コンサルティング)
- サントク保障サービス株式会社  
(警備業、施設管理等のサービス業務)

## 株式の状況

平成25年9月30日現在

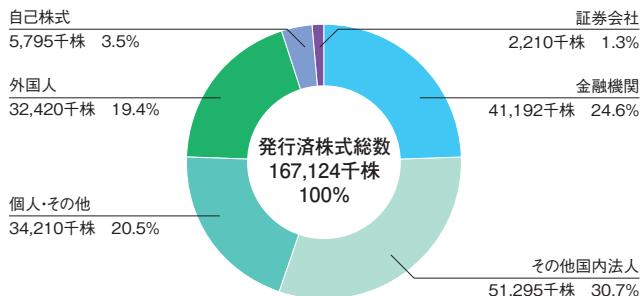
発行可能株式総数	474,392,000株
発行済株式総数	167,124,036株
株主数	15,932名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
新日鐵住金株式会社	24,256	15.13
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C BRITISH CLIENTS	11,378	7.10
山陽特殊製鋼共栄会	9,668	6.03
日本精工株式会社	7,470	4.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,136	3.83
株式会社三井住友銀行	5,696	3.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,392	2.74
JUNIPER	3,772	2.35
株式会社みずほ銀行	3,642	2.27
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	3,108	1.94

(注)当社は、自己株式5,795千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 株式の所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月下旬

同基準日 3月31日

配当の基準日 期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日

電子公告  
【アドレス】 <http://www.sanyo-steel.co.jp/>  
事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、  
日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

〒540-8639  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

お問合せ先 【フリーダイヤル】0120-782-031

上場証券取引所 東京(証券コード 5481)

### 単元未満株式の買増・買取請求制度のご案内

当社には、1,000株未満の株式(単元未満株式)の買増・買取請求制度がございます。

詳細は、上記お問合せ先までお尋ねください。

**SANYO  
SPECIAL  
STEEL**

